

◆ 教員養成の理念と目標

教員養成の理念・目標

建学の精神及び教育理念に基づき、生気・知性・信頼を兼ね備えた豊かな人間性と
ともに、共生と調和を尊重し、地域共創の主体となる教員の養成をめざします。

1. 広い教養と豊かな人間性を備えた教員を養成する。
2. 愛情をもって子どもを理解し、子どもを尊重する教員を養成する。
3. 確かな理論に基づき、創造性と行動力に満ちた教員を養成する。
4. 郷土の歴史と文化を踏まえ、地域社会の教育を担う教員を養成する。
5. 学校教育を生涯学習・生涯教育の一環ととらえ、地域社会に寄与する教員を養成する。

各学年の目標

【1年次】

幅広い教養と専門的知識の基礎・基本を理解する。

教職の意義、使命と責任について理解し、教職への意志や情熱を確かなものとする。

学内でのボランティア活動や課外活動に参加し、生徒理解や社会性の基礎を培う。

【2年次】

教科についての専門的な知識を理解する。

教職に求められる基本的な知識や態度を身につける。特に、教育の理念や歴史、学校教育の意義と役割、生徒の成長・発達、教育課程や教育方法について理解する。

学内外のボランティア活動や課外活動に参加し、生徒理解を深め、社会性を培う。

【3年次】

教科についての専門的な知識を深めるとともに、教科の指導法や生徒指導について理解する。教育実習に向けて、教科指導や生徒指導の実践的な指導力の基礎を身につける。

学校ボランティア活動に参加し、学校や生徒についての理解を深めるとともに、社会性や対人関係能力を培う。

【4年次】

教育実習をとおして、教職のあり方や教科指導、生徒指導等の実際を体験し、教職への理解を一層深める。また、教職に就く上での自己の課題を自覚し、専門的な力量、社会性や対人関係能力等、教員として必要な資質能力を高める。